

石膏型を利用した商品化支援

【相手先企業】

水戸市社会福祉事業団 知的障害者通所授産施設 陶芸班

【目的】

軽度知的障害者の自立支援を行う授産施設作業指導員が、オリジナル商品を生み出すための石膏型製作技術の支援を行いました。

【内容】

原型作りから元型を作り、鋳込み型、陶車（機械ろくろ）型までの制作指導を行いました。実際に作業を行う知的障害者が安全に、簡単に作業を行い、収入を得ることが出来る商品について、使用する素材や型の形状、効率性について検討を行いました。

【成果】

従来までは既存の石膏型を買い求め使用していたが、現在、一部オリジナルの製品をそれぞれ原型から石膏型を制作し、作業指導を行っています。現在、更に付加価値を高めた商品開発や、型製作技術を応用した異素材商品の開発を目指しています。



写真 1：鋳込み成形による製品作り



写真 2：機械ろくろによる製品作り

基礎となった事業：試験研究指導事業（技術支援及び技術相談）

担当部署：窯業指導所 工芸技術部門